

# 市民と市長の対話集会

## 第8回

### タウンミーティング記録集



平成20年5月17日(土曜日)

会場 萩山公民館

時間 午前10時~正午

東村山市

# 開催内容

平成20年5月17日(土)午前10時から萩山公民館で、市民の皆さんと地域の課題、市政について市長と直接対話を行う「第8回タウンミーティング」を開催いたしました。

50名ほどの参加者があり、参加者と渡部市長との意見交換が行われました。市政課題、萩山町地域の課題など、多くのご意見とご要望に対して、一つ一つ市長が答え、休憩をはさみ後半30分間は、意見カードに記入されたご意見や質問の内容を中心に進められました。

時間の都合により回答できなかったご意見に対しては、本記録集の中で報告させていただきました。

## 会場アンケート結果(住所地・年齢・性別について)

アンケート用紙は会場入り口で配付し、うち39枚を回収しました。

### ・参加者の住所地

本町	0	富士見町	0
久米川町	0	美住町	2
秋津町	0	廻田町	0
青葉町	1	多摩湖町	1
恩多町	2	諏訪町	0
萩山町	22	野口町	0
栄町	1	未記入	10
市外	0	合計	39

### ・年齢

年代	参加者数
20代未満	0
20代	1
30代	0
40代	1
50代	6
60代	12
70代	11
80代以上	3
未記入	5
合計	39

### ・性別

男性	21
女性	10
未記入	8
合計	39

## 第8回タウンミーティング記録（概要）

### 【市長あいさつ】

このタウンミーティングは、私の公約の一つで、できるだけお金がかからず、すぐにできるものは何か、ということで昨年10月より始めさせていただいている事業になります。昨年度は初年度ということで、ふれあいセンターを中心に開催をいたしました。このふれあいセンターについては主に、施設を管理運営していただいている、ふれあいセンター市民協議会の皆様のご協力をいただき実施をまいりました。ふれあいセンターの設置がない地域につきましては、周辺自治会の皆様にご協力を頂きながら開催をしていきたいと思っております。

早いもので、市長になって一年経ちました。20年度の予算については初めて一から作り、3月定例議会において承認をいただき、4月1日から執行をしております。しかし、新年度早々に道路特定財源問題が出たため、久米川駅北口工事を一時凍結しましたが、国会で再議決がなされたので、6月の初めには工事を再開したいと思っております。萩山地区ですと、昨年萩山駅のバリアフリー化の工事を始めたところ地下に空洞が見つかったため一時中断をし、埋め戻しの工事行いました。現在はエレベーター設置の工事を再開し1基稼動しております。また、ご案内のとおり後期高齢者医療制度（長寿医療制度）など、大きな制度改正もあり、地方分権とはいいますが、自治体は国の政策の影響を大いに受けておりますけれど、なんとか市民の皆さんにご迷惑をおかけしないよう頑張ってきたつもりであります。

市では、大変厳しい財政状況に置かれておりますが、この分権時代の中では市民の皆さんと行政がこのような機会を通じて、自分たちのまちをどうしていくのか、話し合いながら進めていくことが求められていると思います。

今日は、限られた時間ではありますが、忌憚のないご意見をお寄せいただきますよう、どうぞよろしく願い申し上げます。



## 【会場でのご意見】

\* 以下は発言要旨を記録し、個人名は伏せさせていただきました。

### 意見 萩山駅南口歩道橋について

(萩山町 Tさん)

萩山駅南口にある歩道橋が劣化し、穴が空いている所もある。  
ぜひ、現場を見て対応をしてほしい。

市長

萩山駅南口のロータリーの歩道橋の老朽化については、苦情が出ていることも承知をしております。

この歩道橋は、東村山市の敷地になるため管理は東村山市が行っておりますが、渡ったすぐ先が小平市になり、利用者のほとんどが小平市民の方になります。そこで、小平市に協力をお願いしています。

しかし、危険があっては良くないので、今後も小平市と協議をしながら進めていきたいと思えます。

### 意見 萩山児童館について

(萩山町 Sさん)

萩山児童クラブの保護者会の会長をしている。萩山児童館の建て替えが市議会で採択され嬉しく思う。  
その後の状況、スケジュール等を教えてほしい。

市長

萩山小学校の南東にある児童館は、設置後かなりの年数が経ち老朽化が進み、長い間建て替えの請願が出されており、昨年議会で採択されました。それに基づき 20 年度に設計の予算が組まれておりますので、21 年度に工事が開始される予定になるかと思えます。

しかし、ご案内のとおり課題もあります。21 年度から児童数が 71 人以上の児童館に対しては国からの補助金がなくなりますが、本市の場合児童館の規模が大きく、ほとんど児童数

が 71 人以上になっておりますので、まずは一定の方向性を定めていく必要があるかと思  
います。

また設置場所についても、現在の場所は狭隘であるため場所についても模索をしており  
ます。ひとつには、都営住宅と萩山パーク・ホームズとの間の三角地、ここは都有地になるた  
め都から借り入れることができないか交渉をしておりますが、様々な条件があることと、資  
金面がネックとなり決めきれれておりません。しかし、時間的な余裕があまりありませんので、  
保護者の方とも話し合いをしながら決めていきたいと思っております。

## 意見 萩山駅のバリアフリー化について

(萩山町 A さん)

「萩山駅をよくする会」は萩山駅にエレベーターを設置するため活動をしている。  
なぜ、要望してからエレベーターを設置するのに 9 年もかかったのか。  
また、北口にスロープを設置してほしい。

市長

まず、東村山市には駅が非常に多いのですが、予算には限りがありますので、乗降者数の  
多い駅からエレベーターの設置を進めてきたこと、そして、東京都が一切の事業費を負担し  
た府中街道の拡幅工事に伴いバリアフリー化を進めた八坂駅のように、他の事業とのタイミ  
ングの問題があります。

ご存知かとは思いますが、バリアフリー法に基づきエレベーターを設置するにあたっては  
鉄道会社、国、市が事業費を三分の一ずつ負担します。また、設置されたエレベーターは市  
の財産ではなく、鉄道会社の財産になるため、国から取り決められた借金をしてはならない  
事業となることから、単年度で現金を 7,000 万円用意して実施する事業になります。緊急を  
要する事業等もあったこともあり、7,000 万円を一括で準備することがなかなか出来なかつ  
た経過があります。また、19 年度に工事をいざ開始しようとしたら、今度は地下に空  
洞が見つかり、埋め戻す作業が入った為さらに 1 年延びてしまいご迷惑をおかけしました。

北口スロープの件については、地元の議員さんからご指摘、ご要望もいただいております  
ので、設置に向けて鉄道会社、都と協議をしながら進めていきたいと思っております。

## 意見 グリーンバス・シルバーバス・健康診断について

(萩山町 Uさん)

グリーンバスの路線が変更になったが、なぜ久米川駅方面は通らないのか。  
また、シルバーバスは無料交付の人と有料交付の人がいる。有料の人に補助はできないか。  
もう一つ、特定健診の際に採血をされるので、その採血を用いて併せてがん検診もしてほしい。

市長

グリーンバスのご要望はどの地域からもいただきます。久米川駅方面につきましては、久米川駅北口広場が出来た後、考える必要もあるかとは思いますが、南口は既存の民間の路線があった関係で、今まで久米川駅起点の市バスがなかったと言えるかと思えます。

シルバーバスの制度は、東京都の制度になります。今の制度では、区市町村民税が課税の方は2万円程度、非課税の方が1千円の利用者負担となっております。高齢者の方の社会参加の面等から、他の自治体の動向も見ながら研究はさせていただきたいと思えますが、東村山市の現在の厳しい財政状況の中、一定の所得のある方に対しても、金銭的な補助をすべきかどうかは、市民の方、議会を通しての議論が必要になってくると思えます。

特定健診の件になりますが、今年の4月から医療保険制度が変わり、75歳以上の方はいわゆる後期高齢者医療制度に移行し、医療保険者に対して特定健診、特定保健指導が義務付けられているのはご案内の通りです。この健診項目は、国が定めたものに基づき各医師会と協定を結んで料金を定めており、採血からがん検診に結び付ける項目までは入っておりません。健診項目を増やしますと、受診料金が上がり、保険料に跳ね返ってくる問題が出てきますので、ここをどうするか研究する必要があると考えます。



### 特定健康診断（特定健診）

内臓脂肪型肥満に着目した、生活習慣病予防のための保健指導を必要とする人を選び出すための健診です。健診の結果をもとに、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因の数に着目して、リスクの高さに応じて、レベル別（「動機付け支援」「積極的支援」）に特定保健指導の対象者の選定を行います。（階層化という）

### 特定保健指導

階層化により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対してのみ実施されます。

特定保健指導の目的は、対象者が自分の健康状態を自覚し、生活習慣の改善のための自主的な取り組みを継続的に行うことができるようにすることであり、対象者が健康的な生活に自ら改善できるよう、さまざまな働きかけやアドバイスを行います。

## 意見 議会傍聴・市職員数について

(萩山町 Nさん)

市議会の傍聴へ10回程行っているが、市民の傍聴人がいつも7~10名程度である。時間のある人は、議員の方の発言を聞いてみると良いと思う。ぜひ行って見てほしい。また、市役所の職員の対応が前に比べると大分良くなったが、まだ全体的に職員数、特に課長等の人数が多いと思う。財政難なので人数の適正化を。

### 市長

市議会への傍聴人が少ないのはご指摘の通りだと思います。市議会では、議員の皆さんからのご質問やご要望に対して、行政側の考え方を示す場でもありますので、多くの市民の方に傍聴して欲しいと思います。

しかし平日に開催しており、また、長時間に亘るものになりますので、なかなか時間を作るのが難しい方がほとんどであると思います。ですので、LIVE(生中継)あるいは録画になるのか分かりませんが、インターネット等を通して配信ができるかどうか、議会運営委員会において検討をしてもらっているところです。

また、職員の対応が以前に比べて良くなったという、ありがたい意見をいただきました。職員には市民の方に対して親切に対応するように、今後も指導をまいります。

職員数は、正職員に関しては一番職員数が多かった時は1,051名おりましたが、今年の4月1日現在は887名になっております。極めて厳しい財政状況なので退職者に対して、可能な限り新規職員は不補充とし、削減に努めております。ちなみに、正職員一人当たりに対して、住民基本台帳に記載されている住民数で言いますと、168名で多摩地域ではほぼ真ん中の順位になり、ほぼ平均的であります。

市役所の仕事は基本的にマンパワーによるところが多いため、極端に削減するとなると、民間委託等をしない限り難しくなってきます。私が市長になってから人員を減らしてきましたが、多種多様なご意見、ご要望を市民の方からいただく中で、どの部署においても慢性的な人不足になっており、ご要望等にお答えしきれないのが現状ですが、少数精鋭で財源を活かしていきたいと思っております。

また、確かに定時で終業できる部署もありますが、防災安全課のように、火災が起こると夜間でも必ず出勤をする職場や、当市では生活保護を受給している世帯が非常に多く、厚生労働省では生活保護を受けている方のケースワークをする職員、ケースワーカー1人につき担当数は80世帯となっておりますが、当市の職員は100世帯を超えており、オーバーワークとなっている職員もおります。これらを踏まえ、人員を適正に配置していく必要があると考えております。

管理職数が多いのではないかといったご指摘ですが、東村山市は部長職が9名、次長職が

10名、課長職が56名、合計で管理職が75名となります。職員数が900名近くの組織で、管理職がその一割以下というのは、決して多いとは言いきれないと私は思っております。ただ、多忙な業務の中で、管理職が適切な指導、監督が出来ているかについては、今年の1月に発覚しました市民課での職員の横領事件があったこともあり、管理職の管理が甘かったのではないかとのご指摘もあるかと思っております。今年は職層別の会議ということで、課長級との会議も始めました。課長職から直接、課の実状を聞くとともに、私から職員の指導、育成、監督管理の徹底についても指示をしています。

職員数の削減をするには一人ひとりの能力や資質を上げていくのと同時に、できる部分については民間委託等も視野に入れ考えていくことが課題となっております。

## 意見 公園利用について

(美住町 Aさん)

美住第一仲良し公園の近隣に住んでいる。

この公園から、家の庭にバットやボール、そして石が飛んでくることもある。近隣の小学校や中学校、市役所の公園係に注意するようお願いした。公園係には看板を立ててもらったが、効果はない。公園側の窓ガラスは危ないので、日中も雨戸を閉めっぱなしにしている。

学校の道德教育の授業の強化と、公園の清掃係の人は清掃した際に出た石を自宅の脇に捨てるので、そこには捨てないでほしい。また、公園の柵の高さをもう少し高くしてほしい。

市長

大変ご迷惑をおかけしているようで、申し訳ありません。

今初めて伺いましたので、状況を確認し、どういった対応が出来るのか検討させていただきたいと思っております。他の市内のいくつかの公園でも、トイレが破壊されたといったことも起きております。教育委員会とも連携を取りながら、道德教育について徹底し、ご近所に迷惑がかからないような対策をとっていきたいと思っております。

～ 10分休憩～



## 意見 自治基本条例について

(美住町 Tさん)

まず、行政サービスを提供するのが市役所の仕事のはずであるが、西口再開発工事に伴う、ボーリング場アスベスト除去工事の説明会に行政側から参加者が一人もいなかった。また、遠くまで公費で視察に行くが、請願などに対する行動がない。もう一つ、小平市で自治基本条例ができるようだが、東村山市でも制定してはどうか。

市長

大変厳しいご指摘をいただきました。

自治体は、あくまでも住民あってはじめて行政が成立しますので、その事を常に肝に銘じていきたいと思えます。

西口広場を造るにあたり、既存建物の解体に伴うアスベスト除去工事の説明会に行政側の参加がなかった件に関しましては、当時の行政側では、組合施工の事業であるとの考え方でしたので参加をしていなかった時もあると聞いております。

視察の件につきましては、議会で決定されるものになります。議会は独立した機関ですので、私がお答えさせていただく内容ではありませんが、当然、議会としましては、市民生活の向上、市政の発展のための視察になり、物見遊山をしている訳では決してありませんので、視察したことが市民の皆さんにどのように還元されるかを、きちんと説明できるようにしておく必要はあるのではないかと考えます。

自治基本条例につきましては、小平市では2年間かけて、公募市民からなる策定委員が条例の基本案を策定し、小林市長へ提出されました。それを踏まえ、小平市は市議会へ自治基本条例案を提案すると聞いております。

私も、マニフェストの一つに自治基本条例の制定を掲げさせていただいております。主権在民を一番身近な行政である市役所でどう実現していくのか、行政側よりも一歩も二歩も進んだ考え方をお持ちの市民の方もいらっしゃいますし、市民の方の行政への参加、また公共課題の解決、また、最終的には市民の皆さんも、行政に対して要望のみを伝えるのではなく、限られた財源、人材の中で今、行政が何をしていく必要があるのかを共に考えていただく時代になってきたと思えます。いわゆる市民参加、市民協働を条例上に保障する自治基本条例を、このタウンミーティング等を通して呼びかけを行いながら、今年度は具体的な歩みを踏み出していきたいと思えます。

ただ条例文を作るだけであれば、すでに先進市の条例がありますので、それをモデルにすれば作ることは簡単であると思えますが、実のある条例、これからの東村山市の市民自治、住民自治を担える条例を作るため、策定過程を大切にして進めていきたいと思っておりますので、ご指導いただければありがたいと思えます。

都市整備部より

アスベスト除去工事のその後の説明会については、市職員が積極的に参加し、住民の方の理解を得て除去工事が無事完了したものと考えております。

## 意見 住民基本台帳ネットワークについて

(萩山町 Sさん)

第4回目のタウンミーティングに参加し、自治基本条例について質問した際は回答がそっけなかったが、なぜ考え方が変わったのか。

また、財政状況が厳しいといわれる中、西口開発等の大型事業を行う一方、公民館等の利用料が有料になった。住民基本台帳ネットワークは導入当時、相当の反対があり、その住民基本台帳ネットワークを利用した住民基本台帳カードを悪用している例も出てきている。そのカードを利用した市の電子ロッカーの利用率が低い中、多額の費用をかけて続けている意味があるのか。

市長

まず、私の自治基本条例の基本的な考え方は変わっておらず、同じようにお答えをさせていただいたつもりでありましたが、市長に就任させていただき一年、タウンミーティングを始めて半年以上経ち、様々なご意見をいただいてきた経過もありますので、今年からはできるだけ具体的な歩みを進めたいと思っております。方法については、公募市民の形式がよいのか、それとも別の手法が良いのか、そういった面についてはもう少し考えなくてははいけないと思っております。

また、東村山市の財政状況について触れさせていただきますが、この三年間で「三位一体改革」が行われました。これは、国税である所得税を引き下げて、地方税である市・都民税を上げると共に、国から地方に分配されていた地方交付税を削減するといった改革です。当市は、一時は地方交付税を国から50億円を超えて交付されていたことがありましたが、「三位一体改革」によってトータルで見ますと15億円程度の減収になりました。元々財政的に自立できていない上に、この「三位一体改革」が行われたことが、現在の財政状況を生み出した実態に近く、大型事業を実施したので財政が悪化をしたとは一概には言えないと思います。

住民基本台帳ネットワークについては、色々な議論の結果、現在の形になった経過があると思います。ただ、電子ロッカーについては、ご指摘の通りメンテナンス費用に対して利用率が低く、議会でもご指摘を頂いたこともあり、今年度予算にはメンテナンス費用を計上しておらず、現段階で経費をかけて維持していく考えではありません。

住民基本台帳ネットワークについては、最高裁の判決もありましたことから、その結果も見ていきたいと思っております。政府では、電子自治体、電子政府を目指し、税制面等で様々な活用方法も考えているようですし、私としては、せっかく国からの補助金も用いながら費

用をかけて確立したシステムを当市だけ離脱するよりも、確立したものを活用し、市民の方の利便性の向上に使わせていただきたいと思います。

個人情報については、多数のファイアウォールを設置しているので、システム上での漏えいは考えにくいと思います。今後も適正に運営ができるよう、職員の倫理観についてもしっかりと指導し、市民の方にご迷惑をかけないようにしたいと思います。

ファイアウォール・・・ある特定のコンピュータネットワークとその外部との通信を制御し、内部のコンピュータネットワークの安全を維持することを目的としたソフトウェア、あるいはそのソフトウェアを搭載したハードウェアのこと。



現在、運転免許証などをお持ちでない方は、身分証明書を求められて困ることがあると思います。

住民基本台帳カードは、氏名のみが印字された A バージョンと写真と氏名・生年月日・性別・住所を印字した B バージョンがあり、希望のカードを選択することができます。B バージョンは市町村長が交付する公的な身分証明書として、パスポートの交付申請の際の本人確認などに使うことができます。

## 意見 グリーンバスの新規ルートについて

(萩山町 Hさん)

萩山町付近にはグリーンバスがない。新規路線について考えはあるか。  
萩山町は高齢化率の高い地域なので、電車よりバスを使いたい。

市長

グリーンバスについては、どの地域からも要望がでる、非常に関心の高いテーマであると受け止めております。現在、市で運行しているのは東村山駅東口を起点とし多摩北部医療センター経由秋津駅行きルート、諏訪町循環ルート、久米川町循環ルートの3つがあります。また、銀河鉄道というバス会社が4月から恩多町方面ルートと富士見町～新小平駅を結ぶルートの運行を開始しています。こちらは銀河鉄道さんが独自に運行している民間路線になり、公金は一切使われておりません。

グリーンバスの基本的な考え方は、交通不便地域の解消ということで、公共交通機関、駅またはバス路線から500m以上離れている地域から考えており、現在のルートに関しては、この考え方をもとに運行しております。萩山町は萩山駅、八坂駅、久米川駅、萩山1丁目に関しては小平駅というように、どこに住んでいても駅から500m以上離れているところがありません。現在の基本的な考え方では適用できませんので、その部分をどのように考えるかということになってきます。

東村山市は三多摩地域の中でも、非常に高齢化率の高い市です。その中でも、おっしゃるとおり、萩山町は高齢化率が高い地域になります。ですので、コミュニティバスといったものではなく、例えば、他市で試験的に実施されている乗り合いタクシーのような、様々な手段を考えていかなければ、多く地域からご要望を頂いているので、全ての地域のご要望にお答えできないのかなと思っております。

また、現在運行している3ルートの中でも、一番利用率の高い多摩北部医療センター経由のルートにつきましても、年間2,000万円以上税金をかけて運行しており、久米川町循環と諏訪町循環に関しましては、日が浅いということもあるのですが、市の見込みの半分以下の利用者数となっています。厳しい財政状況も一方でありますので、ある程度は費用対効果も考えながら、高齢者の方の交通手段も研究させていただきたいと思っております。



コミュニティバス「グリーンバス」

© TAKARA CO. LTD. 2004

## 【意見カードを使用した意見交換】

### 健康・福祉等

(萩山町 Sさん)

東京都地域別気管支ぜん息罹患率が、平成 16 年度の小学校の定期健康診断疾病異常調査によると東村山市が 1 位になっていた。行政の考え方を聞きたい。

#### 市長

たびたび市議会でもご質問を頂きますが、率直に申し上げてなぜ、東村山市が一番罹患率が高かったのか原因がわかっておりません。

しかし、この時の調査時の認定者数の出し方が、自治体によってまちまちであったと一方では言われております。例えば、区部でありながら罹患率が低い自治体がある一方で、青梅市のようにあれだけ緑が豊かな自治体の罹患率が 2 番目に高くなっています。あくまでも私のイメージなのですが、東村山市や青梅市は緑が比較的多く、もっと交通量が多く空気が良くない自治体があるのではないかと思います。

今後の集計のやり方をどうしていくのが、課題としてあるのではないかと考えておりますが、当市も幹線道路、新青梅街道や府中街道がありますので、そういった影響もあるかとは思っていますので、今後調査研究をしていきたいと思っております。

#### 教育部学務課より

児童のぜん息罹患率が都内で最も高い件につきましては、データを集計している東京都教育庁学務部学校健康推進課より、平成 18 年度に、「集計の方法や基準の解釈については、各区市町村によってそれぞれ異なるため、厳密に正確な数値が出るわけではなく、これは都内全体での傾向を把握しておくためのものであり、区市町村ごとの比較を目的としたものではないので、各区市町村の数値を一覧として掲載することに関しては、今後検討する必要があると考えている。」との回答を得ております。また、都内全体で統一の基準が無い場合、市内の小・中学校間でも基準が異なり罹患者数に大きな差が生じておりました。

そこで、平成 19 年度より東村山市内では統一した基準で調査をすることにしたところ、学校間で極端な差はほとんど見られなくなりました。さらに、問診票の内容についても、保護者の判断ではなく、医師からぜん息の診断を受けた者のみを挙げてもらうように変更しております。罹患者への対応については、ぜん息の原因は様々あり、また、一人の罹患者について複数の原因がある可能性もあるため、それを特定することは困難であると考えます。対応としましては、うがい・手洗いや部屋の掃除等を保健だよりで呼びかけ、ぜん息予防を働きかけていく必要があると考えます。

## 施設関係

(栄町 Nさん)

昭和59年より、萩山公民館保育室にて放課後の子どもの居場所作りを目的に文庫活動をしてきたが、昨年より施設の有料化で休会状態である。  
子どもの福祉に関する活動に対しては有料化の見直しをしてほしい。

市長

公民館に限らず、公的施設の使用料の件はタウンミーティング毎に厳しいご意見をいただいております。

やはり、社会教育施設ではありますが、自主的に使用される際には一定の電気料や水道代等がかかってまいりますので、利用される方が一定の負担をしていただくことが、利用される方、されない方との公平性を考えますと、本来のあり方になるのではないかと考えます。

ただ本来、公共施設は皆さんに使っていただくための施設でありますので、有料化したことが原因で施設の利用者が極端に減ってしまう状況になっては、本末転倒になってしまいます。ですので、利用の促進方法や利用者数の推移をもう少し見ながら、あり方を考えていきたいと思っております。

また、自分たちの趣味ではなく、子どものために行っている事業に対しては、無料にならないかのご意見かとは思いますが、どこまでが無料の事業で、どこからが有料の事業になるのかなどの区別をつけるとすると、行政側が利用目的に細かくチェックを入れる必要も出てくるかと思っておりますので、もう少し検討、研究をさせていただきたいと思っております。

## 交通・都市整備等

(萩山町 Iさん、萩山町 Kさん)

・旧テニスコート前の通学路が気になる。憩いの家の北角がブロックになっており、見通しが悪い。柵状にできないか。  
・萩山通りが安心して歩行できるような道路にしてほしい。せめて片側だけでもガードレールを設けられないか。

市長

萩山町地域の道路問題という、やはり萩山通りになるかと思っております。これは、民設公園、旧テニスコートの跡地をどうするかという議論を行った際にも、巨大なマンションができると、今ですら交通量が多く危ないのに、さらに危険になるのではないかのご意見が多数出されました。行政側としましては、警察と一定の実態調査等を行い、一部に自転車の飛び出し注意を促す路面シールを貼る等の対応はさせていただきました。ただ、片側にガード

レーンを設置するとなると、今度は交互通行ができなくなってしまいます。ここを一方通行道路にするとなると、現在、萩山町3丁目の方から中通りについても狭い道幅に対して交通車両が多いとのご意見もいただいておりますので、さらに交通車両が増える心配がありますので、全体的に見ていく必要があると考えております。

抜本的に萩山町エリアの道路問題を解決するとなると、既存道路の拡幅をするか、昭和30年代に計画された都市計画道路、栄町ふれあいセンター前から萩山駅北口広場に貫ける道路になるのですが、その道路を整備するかになると思いますが、どちらにしてもすでに膨大な数の家が立ち並んでおります。ですので、そこにお住まいの方に移動してもらわなければならない問題、そして土地を買い上げる問題とかなり大掛かりな事業になり、明快な回答ができず、いずれ地域の住民のみなさんと十分に議論をし解決の糸口を見つけていく必要があるかと思っております。

## 施設関係

(恩多町 Nさん)

- ・一時避難場所の耐震性についての状況を教えてほしい。
- ・公共施設予約のシステム端末が久米川ポウル近辺ではどこにあるのか教えてほしい。
- ・JR武蔵野線の新駅の新設について具体的な構想があるのか、まったくないのか教えてほしい。

市長

一時避難場所の耐震性についてですが、特に施設の指定がないので萩山町周辺の施設、萩山小学校、東萩山小学校についてお話をさせていただきます。萩山小学校の体育館については、平成13年に建て替えをしておりますので、新耐震をクリアーしておりますので問題ないと考えておりますが、校舎につきましては耐震補強工事をまだ行っておりませんので、いずれ工事をする必要があると考えております。一方、東萩山小学校の校舎につきましては一昨年に耐震補強工事をしており、体育館の耐震補強工事は未工事ですので、こちらも工事をする必要があると考えております。市内には22校の小・中学校があり、現在それらの校舎、体育館の耐震工事を順次進めており、今年度は八坂小学校の校舎、第一中学校の校舎について耐震補強工事を行っております。

非常に厳しい財政状況ではありますが、子どもの命と安全を守るため、校舎等の耐震補強工事については計画的に順次進めてまいります。

公共施設予約システム端末につきましては、基本的に公共施設に設置をしておりますので、こちらが地域的に偏在しているということであれば、今後研究をさせていただきたいと思っております。

JR武蔵野線の新駅についてですが、これまでに第3中学校と旧西武バスとの脇に新駅を作ろうと、市側も一時民間のシンクタンクに委託をして調査をしたこともありましたが、請願駅の設立費用はすべて請願市の負担になり、その当時の試算で費用が約150億円となり、断念した経過があります。結果として、その場所を西武鉄道が売却し現在はマンションが建

っておりますので、そこに新駅を建てるということはありません。もし、可能性があるとする  
ると、やや秋津方面よりになります。スポーツセンターの付近に武蔵野線が通っております  
ので、そのエリアになるかとは思いますが、現在の当市の財政状況、また市民の方の利便性  
との費用対効果を考えますと、先に耐震性などに費用を充てさせて頂いた方が良いのではな  
いかと思っております。

## その他

(萩山町 Mさん)

全市にポイ捨て禁止条例を実施してほしい。  
タバコの吸殻、空き缶等が多数捨てられている。

### 市長

先日の市報に掲載させていただきましたが、6月1日より東村山駅周辺、久米川駅周辺、  
秋津駅から新秋津駅周辺については、歩きタバコをしないようにと「路上喫煙等の防止に関  
する条例」を施行いたします。現在、条例施行の周知キャンペーンとして職員が路上で呼び  
かけを行ったり、のぼりを立てたりしております。少しずつ効果が現れており、秋津駅～新  
秋津駅間につきましては、ポイ捨てがなくなったとの報告を受けました。

全市に拡大するとなると、最終的にはモラルの問題になってくるのかとは思いますが、行  
政側も「路上喫煙等の防止に関する条例」の施行後も、常にポイ捨てが禁止であることを発  
信していくことが重要なのではないかと考えております。





## 市長まとめ

長時間に亘り、ご参加をいただきありがとうございました。限られた時間の中ではありますが、もう少し意見の交換をして、お互いの理解を深めながら踏み込んだ話し合いができればよいのですが、それでも本日も沢山の方から様々なご意見をいただきました。

私自身も把握をしておりませんでした実態を直接お聞きすることができ、また、今日出ました課題を現場に持ち帰ってすぐに対応できるものに関しては対応をさせていただきたいと思います。課題によっては、中・長期的な視野で対応させていただきたいものもありましたので、そういった課題に関してはまた、別の機会を設けていきたいとも考えております。

現在、東村山市は財政的に大変厳しくなっておりますが、地方分権の流れの中で、これまで以上に、住民自治、市民自治ということが求められてくるかと思っております。行政も市民の皆さんと、胸襟を開いて話し合いながら、政策の優先順位を決めていきたいと考えております。

私の考えに対して、不納得な方もいらっしゃるかとは思いますが、まずは対話をしながら東村山市の進むべき方向を考えていくことが、次の東村山を創る第一歩であると思っております。

今後も月に1回のペースで開催をしてみたいと思いますので、またご参加をいただきたいと思っておりますし、私は萩山町に住んでおりますので、出会った際にはお気軽にお声がけをいただければと思っております。

本日は、どうもありがとうございました。



## 開催情報

対 象 市民の方（在勤・在学の方含む）

申込み 申込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。

（手話通訳者が必要な方は、開催日の2週間前までにご連絡ください）

連絡先：東村山市役所 企画政策課 電話/(393)5111 fax/(393)6846

	開催日	会場	時間
第8回	終了しました	萩山公民館	
第9回	平成20年6月21日(土)	美住リサイクルショップ	午前
第10回	平成20年7月19日(土)	市民センター	10:00
第11回	平成20年8月16日(土)	富士見公民館	～
第12回	平成20年9月20日(土)	青葉小学校	12:00



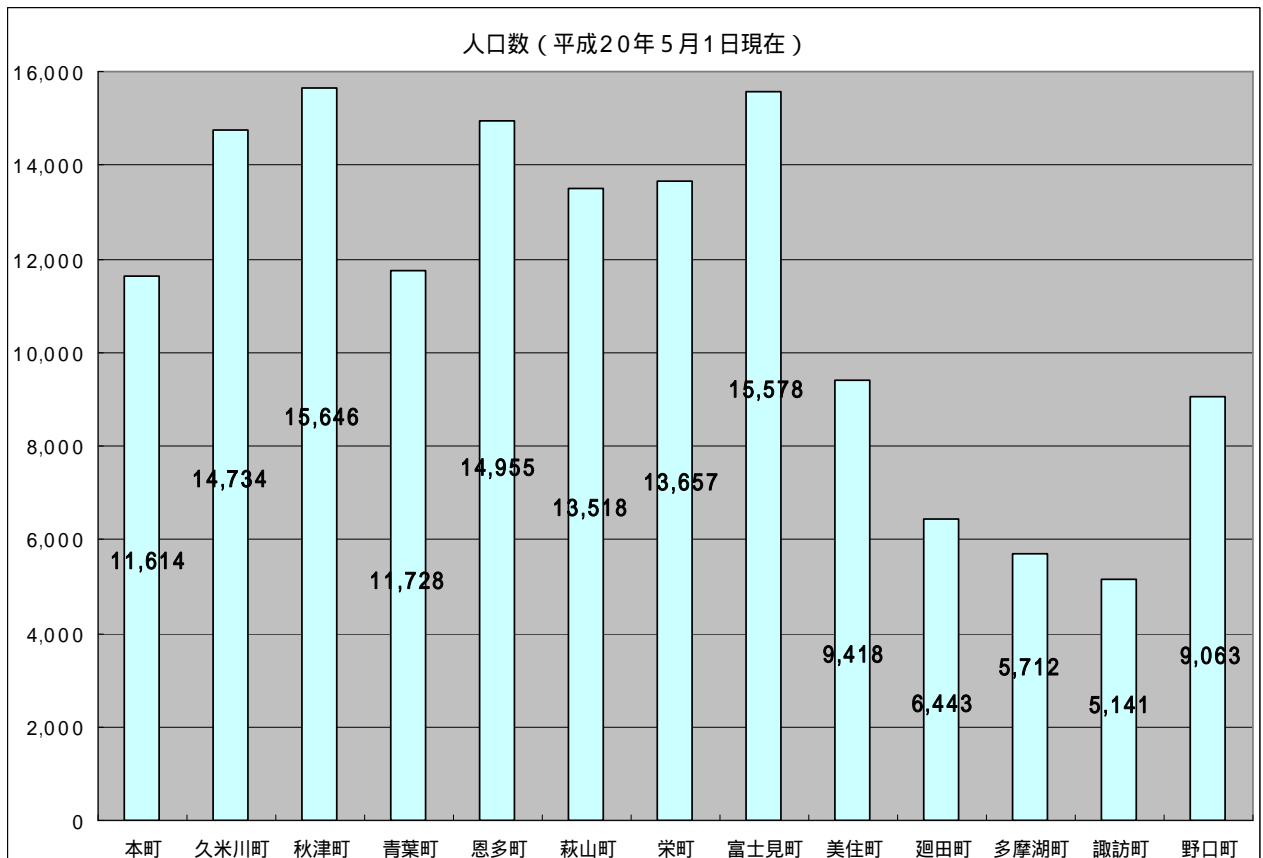
## 参考

意見カードに記入された意見の分野別件数。

分野	件数
1. 健康・福祉等	1 件
2. 子ども・防犯等	0 件
3. 緑・環境等	0 件
4. 交通・都市整備等	5 件
5. 施設関係	0 件
6. その他	1 2 件
合計	1 8 件

平成 2 0 年 5 月 1 日現在の東村山市住民登録人口

人口総数は 149,186 人。(内、外国人登録者数は 1,979 人)



(住民基本台帳に基づく)  
第 8 回タウンミーティング

市民と市長の対話集会  
第8回  
タウンミーティング記録集

発行 平成20年6月  
東村山市役所政策室企画政策課  
東京都東村山市本町1丁目2番地3  
042(393)5111 (内線2215)